



# 2016年3月期決算説明会 (2015年4月1日～2016年3月31日)



2016年5月12日  
*Global Logistics Partner*  
株式会社 近鉄エクスプレス  
*kintetsu world express*

- 2016年3月期連結決算概要  
及び2017年3月期通期連結業績見通しについて
- 02 APL Logistics (APLL) 子会社化に伴う  
財務諸表への取り込みについて
- 03 貸借対照表－1
- 04 貸借対照表－2
- 05 キャッシュ・フロー計算書
- 06 2016年3月期の連結業績
- 07 営業収入と原価・販売管理費の比較
- 08 営業収入・営業利益のセグメント別内訳
- 09 2016年3月期 業績の主な要因
- 10 セグメント別・営業利益率の推移
- 11 営業収入の事業別内訳
- 12 輸送モード別の営業粗利益率
- 13 四半期ごとの業績の推移
- 14 2017年3月期通期連結業績見通し(予想)  
＜新中期経営計画 1年目＞
- 15 2017年3月期営業収入の  
事業別・セグメント別内訳(予想)
- 16 連結子会社の決算期統一について
- 新中期経営計画 “Going to the Next Phase !”
- 18 前中期経営計画(2013年度～2015年度)の総括
- 19 新中期経営計画(2016年度～2018年度)策定の背景
- 20 新中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要
- 21 新中期経営計画 3ヵ年の業績数値目標(連結)
- 22 新中期経営計画 業績数値目標(KWE、APLLの目標)
- 23 新中期経営計画 事業別営業収入の構成比の変化
- 24 新中期経営計画 -事業別営業収入の目標-
- 25 新中期経営計画  
セグメント別営業収入・営業利益の目標
- 26 新中期経営計画 連結物量目標
- 27 新中期経営計画 戦略の柱
- 28 新中期経営計画 戦略の柱  
～APLLグループとの目指すシナジー～
- 29 新中期経営計画  
経営基盤～戦略を支えるコアコンピタンスの強化～
- 30 新中期経営計画 KWEグループの主な戦略
- 31 新中期経営計画 APLLグループの主な戦略
- 32 新中期経営計画 投資計画について
- 33 配当について
- 34 新中期経営計画(2016年度～2018年度)
- 参考資料 (36P～41P)

# APL Logisticsグループ(APLL)連結子会社化に伴う 財務諸表への取り込みについて



## ● 2016年3月期決算への影響（2015年6月30日をみなし取得日）

### ◆ 貸借対照表 (B/S)

- ・ APLLは12月決算であり、12月末日現在のB/Sを連結。

### ◆ 損益計算書 (P/L)

- ・ 7～12月の6ヵ月分の損益が連結対象。
- ・ APLLの株式取得関連費用約8億円を第1四半期に計上。
- ・ のれん等の償却も7～12月の6ヵ月分(約33億円)を計上。

※ 今期より「APLL」セグメントを新設。

# 貸借対照表－1

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増減額	備考
(資産の部)				
流動資産	131,006	178,454	47,448	APLLのB/S連結による(現預金および営業未収入金の増加)
固定資産	63,547	207,447	143,900	
有形固定資産	39,831	45,944	6,112	APLLのB/S連結による
無形固定資産	2,520	134,117	131,596	APLLの取得に係るのれん等の計上による
投資その他の資産	21,194	27,386	6,191	APLLのB/S連結による
資産合計	194,553	385,902	191,348	
(負債の部)				
流動負債	53,772	98,406	44,634	APLLのB/S連結による(営業未払金等の増加)
固定負債	11,093	152,296	141,202	APLLの取得に係る資金調達等による
負債合計	64,865	250,703	185,837	
(純資産の部)				
純資産合計	129,687	135,199	5,511	
負債純資産合計	194,553	385,902	191,348	

# 貸借対照表-2

## ■有利子負債

(百万円)

2015年3月期	2016年3月期	前期比金額
15,134	165,510	+150,376

## ■設備投資額

(百万円)

2015年3月期	2016年3月期	前期比金額	2017年3月期 (予想)
5,417	7,112	+1,694	10,139

### ◆主な投資 (2016年3月期)

- ・ 物流施設関連(埼玉/三郷、タイ等)、IT・ソフトウェア関連、車両等

### ◆主な投資予定 (2017年3月期)

- ・ IT関連(ハードウェア・ソフトウェア・保守・システム開発)
- ・ 物流施設関連(倉庫、庫内設備)、事務所関連
- ・ 車両関連(トラック、トレーラー等)

## ■減価償却費

(百万円)

2015年3月期	2016年3月期	前期比金額
2,720	5,255	+2,534

# キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,457	20,143	10,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,870	△147,207	△136,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	144,744	146,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,573	△2,476	△6,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	736	15,203	14,467
現金及び現金同等物の期末残高	48,700	63,903	15,203

# 2016年3月期の連結業績

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

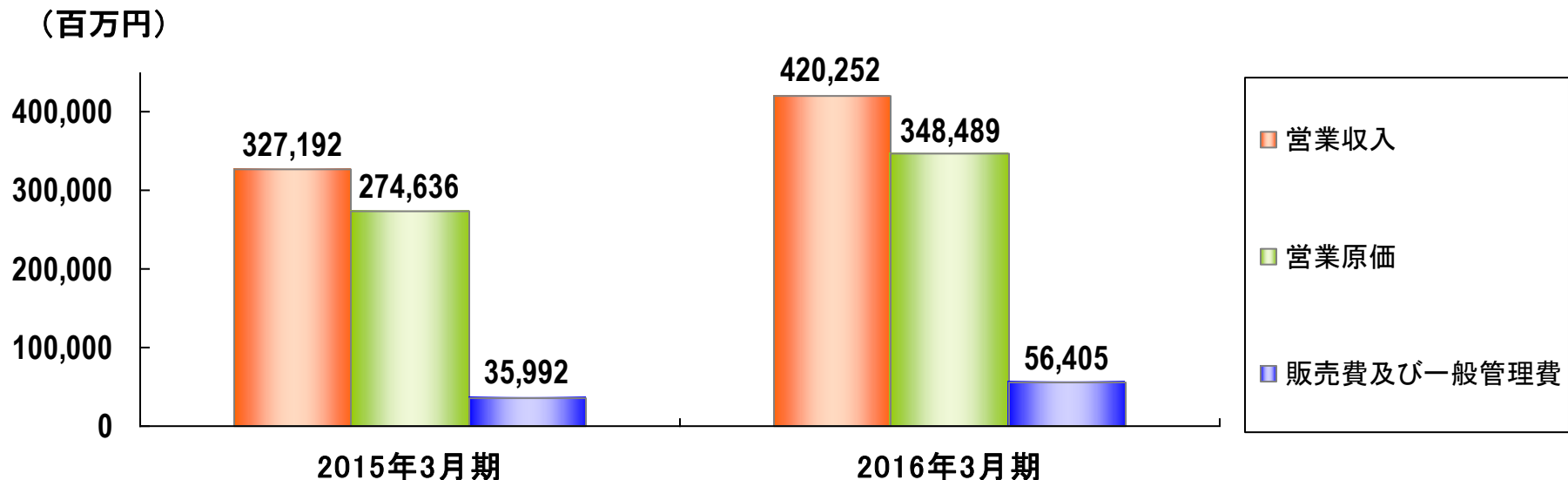
項目	2015年3月期実績		2016年3月期実績		2017年3月期予想 (※2016/5/11発表時予想)
		前期比増減率(%)		前期比増減率(%)	
航空輸出重量	478	12.8	457	△4.4	—
航空輸入件数	1,232	5.9	1,208	△2.0	—
海上輸出容積	396	9.3	463	16.9	—
海上輸入件数	236	2.1	238	1.0	—
営業収入	327,192	16.2	420,252	28.4	534,000
営業総利益	52,556	13.5	71,762	36.5	—
営業利益	16,563	20.5	15,356	△7.3	16,400
経常利益	18,429	20.7	17,907	△2.8	17,000
税金等調整前 当期純利益	16,372	9.8	17,847	9.0	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (旧:当期純利益)	10,489	11.4	9,773	△6.8	9,800

適用レート	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	2016年3月期
対USDドル	105.85円	120.23円	121.05円
対EURO	140.42円	134.17円	134.31円

指標	2015年3月期	2016年3月期
EPS	145.68円	135.74円
BPS	1,750.16円	1,741.44円
ROE	9.0%	7.9%

※当社は2015年10月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を行っており、EPS及びBPSは当該株式分割が2015年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

# 営業収入と原価・販売管理費の比較

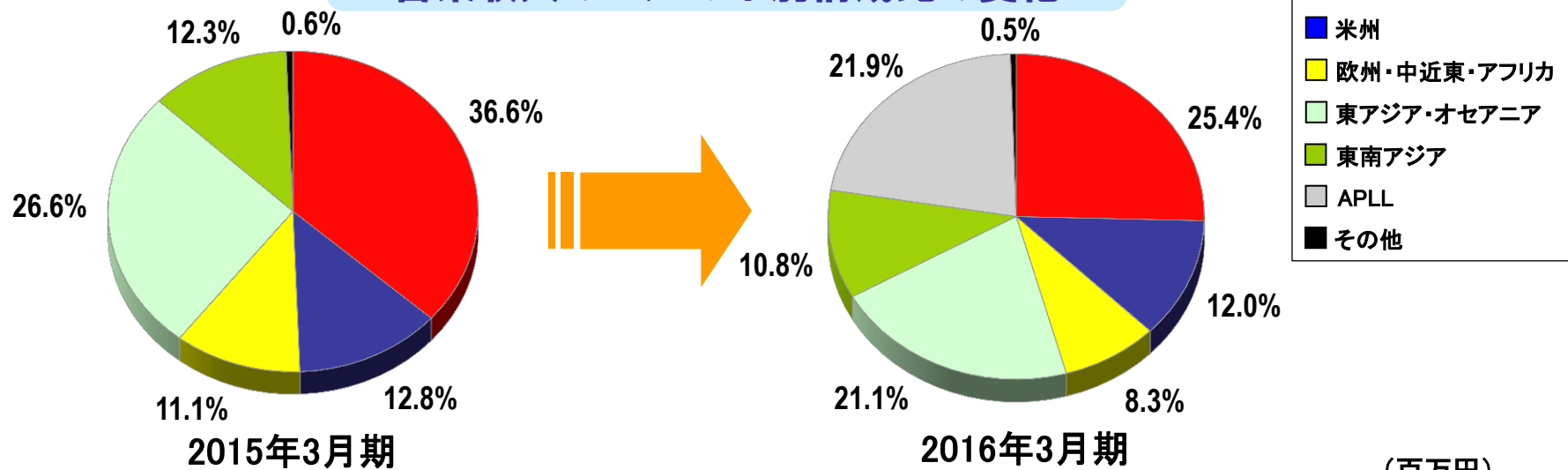


(百万円)

	2015年3月期	対営業収入比	2016年3月期	対営業収入比
営業収入	327,192	100.0%	420,252	100.0%
営業原価	274,636	83.9%	348,489	82.9%
販売費及び一般管理費	35,992	11.0%	56,405	13.4%
営業利益	16,563	5.1%	15,356	3.7%

# 営業収入・営業利益のセグメント別内訳

## 営業収入のセグメント別構成比の変化



(百万円)

セグメント別	営業収入	前期比増減率	営業利益	前期比増減率
日本	109,427	△11.0	4,127	△35.1
米州	51,914	20.7	3,778	31.0
欧州・中近東・アフリカ	35,975	△3.7	992	34.8
東アジア・オセアニア	91,286	2.1	5,621	10.2
東南アジア	46,797	12.9	1,928	64.1
APLL	94,401	-	△1,404	-
その他	2,109	13.0	308	0.5
調整額	△11,659	-	4	-
合計	420,252	28.4	15,356	△7.3

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

※APLLは2015年7月から12月までの6ヵ月分の損益を連結しております。

# 2016年3月期 業績の主な要因

## 1 日本単体は航空輸出物量の伸び悩み等により苦戦。

- 単体の営業利益率は前期の5.0%から3.2%へ。
- 国内関係会社は下期より改善基調で推移。

## 2 海外(除くAPLL)は概ね堅調に推移。

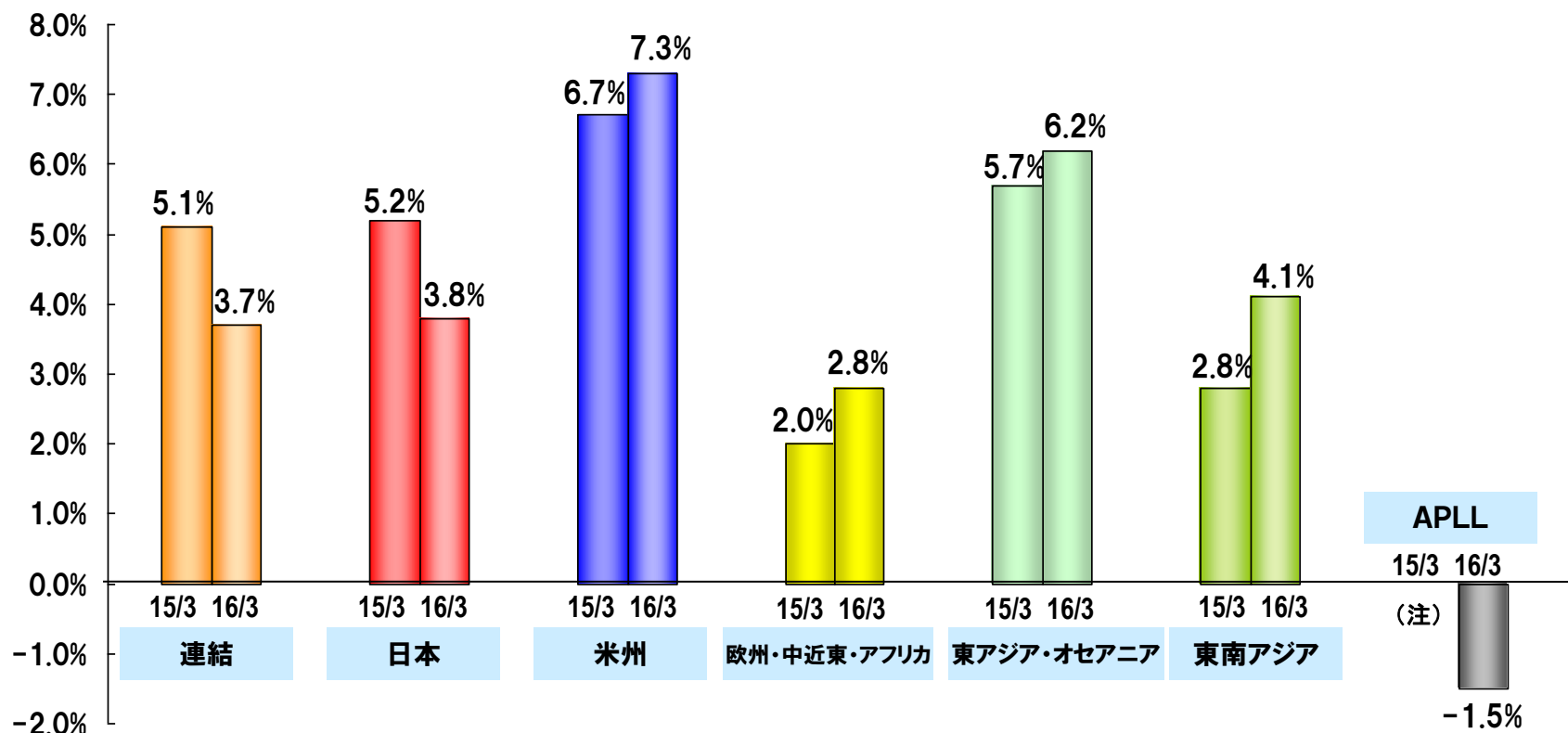
- 海外四極の営業利益率は、前期の4.7%から5.5%へ。
- 米州は米国西岸の荷役遅延による航空輸送の増加と販売拡大により順調に推移。
- 欧州・中近東・アフリカはドイツの下期からの業績回復で改善が鮮明。
- 東アジア・オセアニアは航空・海上ともに物量が減少するも利益率は改善。
- 東南アジアは改善諸施策の成果や販売拡大により回復基調が継続。

## 3 APLLは想定を下回る業績で推移。

- 一部ビジネスでの減速や親会社変更による一般管理費用の計上等により営業利益が想定を下回って推移。

# セグメント別・営業利益率の推移

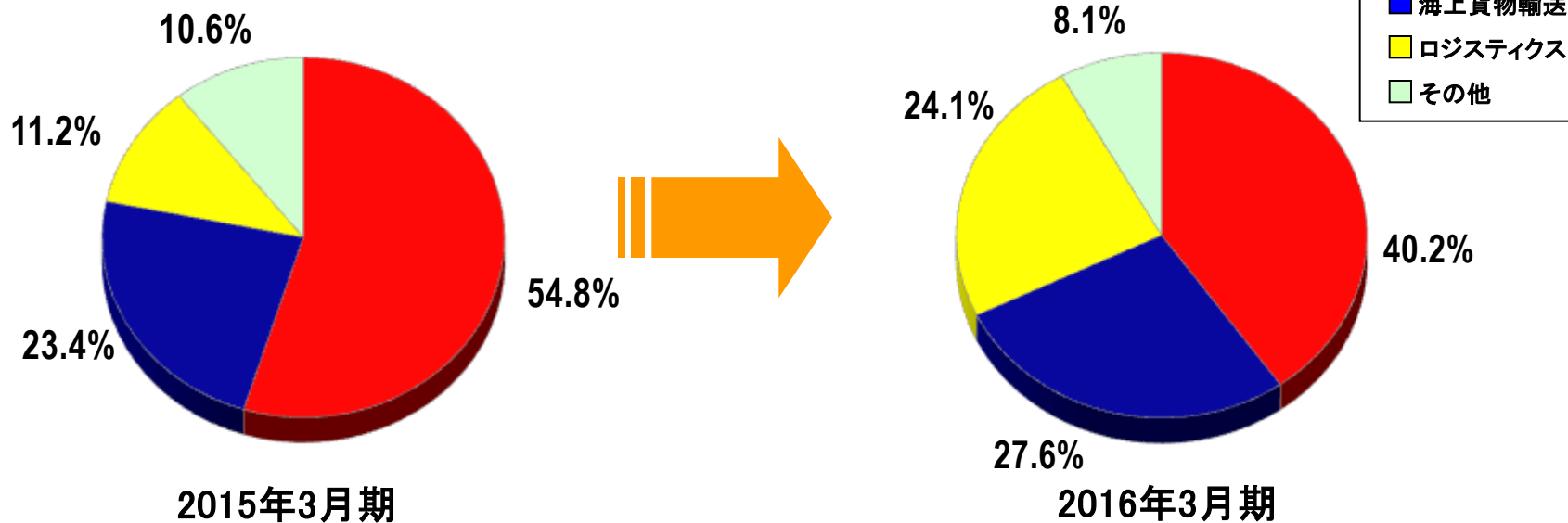
2015年3月期／2016年3月期  
(実績)



(注) APLLの連結化は2016/3期であるため、15/3期の営業利益率は記載していません。

# 営業収入の事業別内訳

## 営業収入の事業別構成比



(百万円)

各事業		2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (実績)	
		営業収入		営業収入	
貨物輸送事業	航空貨物輸送		179,236	168,768	△5.8%
	海上貨物輸送		76,678	115,961	51.2%
	ロジスティクス		36,652	101,380	176.6%
	その他		34,625	34,141	△1.4%
合計			327,192	420,252	28.4%

# 輸送モード別の営業粗利益率

\* 営業粗利益＝営業収入－直接原価

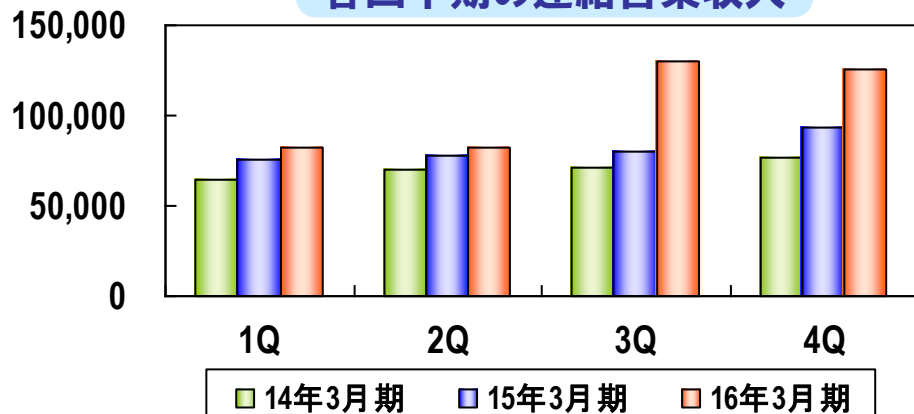
	2015年3月期 (2Q累計)	2015年3月期	2016年3月期 (2Q累計)	2016年3月期
航空貨物輸送	26.7%	26.9%	28.5%	29.3%
海上貨物輸送	22.5%	22.4%	22.1%	※ 27.8%

※APLLの海上貨物輸送に付随する受発注管理 (POマネジメント)、買付物流 (バイヤーズコンソリデーション) の加算により上昇。

# 四半期ごとの業績の推移

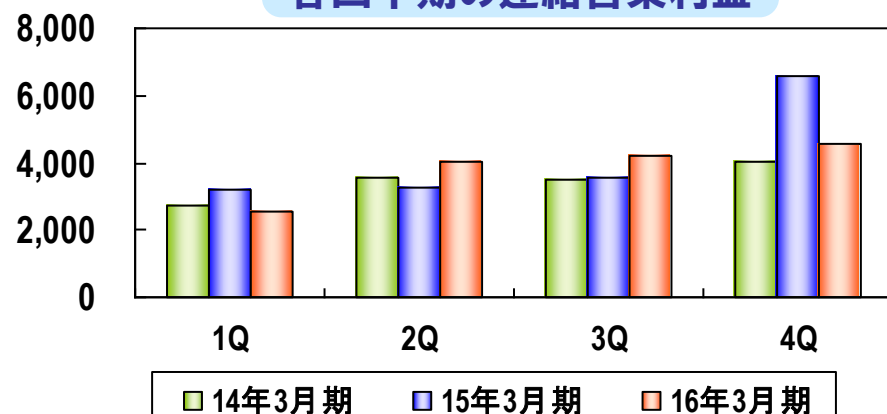
(百万円)

各四半期の連結営業収入



(百万円)

各四半期の連結営業利益



(百万円)

連結営業収入	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	64,644	69,477 (134,121)	70,634 (204,756)	76,748 (281,505)
15年3月期	75,240	78,056 (153,297)	80,309 (233,606)	93,585 (327,192)
16年3月期	82,752	81,868 (164,620)	130,538 (295,159)	125,092 (420,252)
連結営業利益	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	2,710	3,528 (6,238)	3,472 (9,710)	4,031 (13,742)
15年3月期	3,193	3,271 (6,464)	3,538 (10,003)	6,560 (16,563)
16年3月期	2,564	4,031 (6,595)	4,185 (10,781)	4,575 (15,356)
連結経常利益	1Q	2Q	3Q	4Q
14年3月期	2,925	3,879 (6,805)	3,628 (10,433)	4,833 (15,267)
15年3月期	3,573	3,420 (6,994)	4,037 (11,032)	7,397 (18,429)
16年3月期	2,846	4,192 (7,038)	5,303 (12,342)	5,565 (17,907)

\* ( )内は1Qからの累積数値

# 2017年3月期通期連結業績見通し(予想)

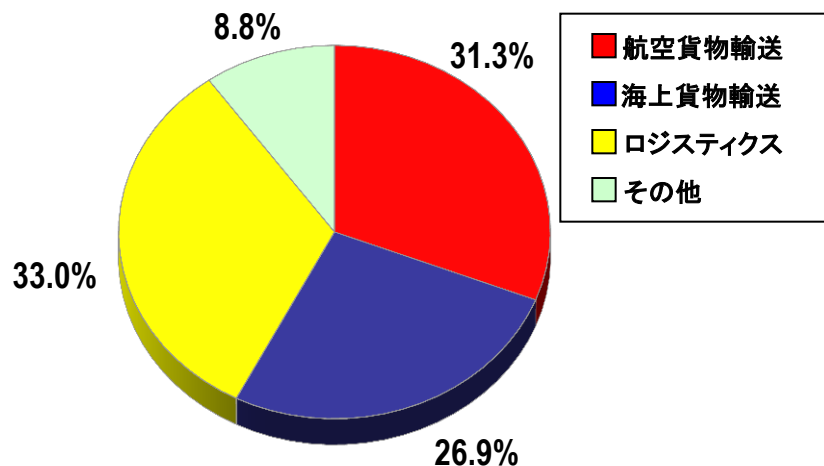
## <新中期経営計画 1年目>

(百万円)

項目	2016年3月期(実績)		2017年3月期(予想)	
		前期比増減率 (%)		前期比増減率 (%)
営業収入	420,252	28.4%	534,000	27.1%
営業総利益	71,762	36.5%	91,964	28.2%
営業利益	15,356	△7.3%	16,400	6.8%
経常利益	17,907	△2.8%	17,000	△5.1%
税金等調整前 当期純利益	17,847	9.0%	17,000	△4.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (旧:当期純利益)	9,773	△6.8%	9,800	0.3%

# 2017年3月期営業収入の 事業別・セグメント別内訳（予想）

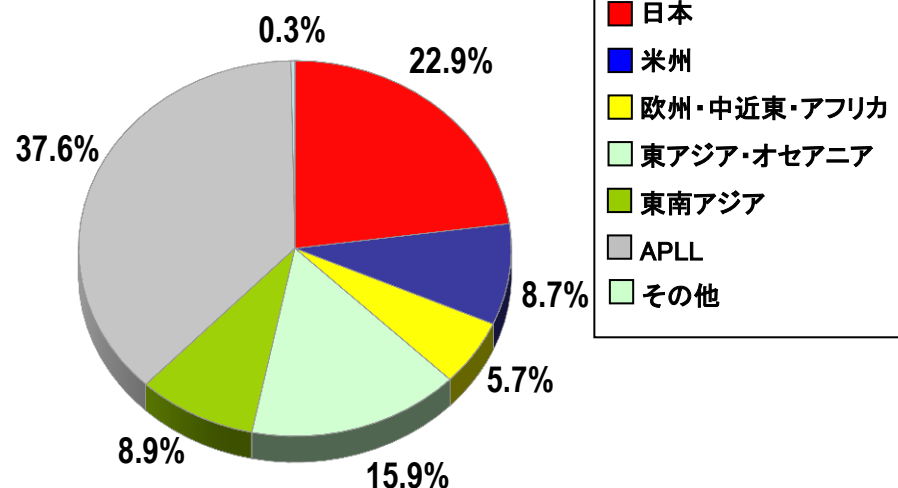
## 営業収入の事業別内訳



2017年3月期（予想）（百万円・%）

各事業		2017年3月期（予想）	
		営業収入	構成比
貨物輸送事業	航空貨物輸送	167,000	31.3
	海上貨物輸送	144,000	26.9
	ロジスティクス	176,000	33.0
	その他	47,000	8.8
合計		534,000	100.0

## 営業収入のセグメント別内訳



2017年3月期（予想）（百万円）

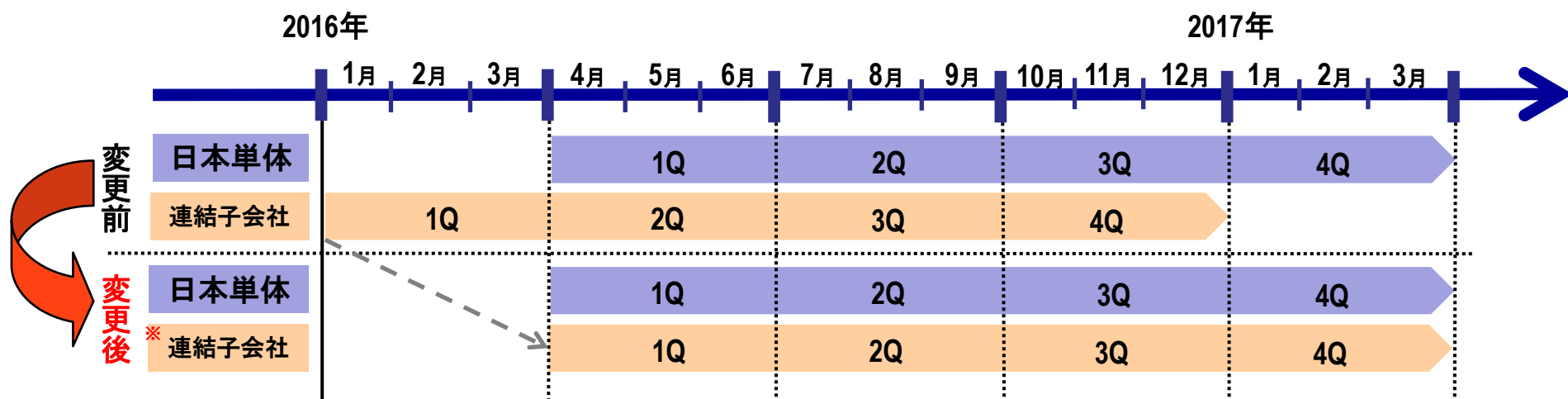
セグメント別	2017年3月期（予想）	
	営業収入	営業利益
日本	129,000	4,800
米州	49,000	3,200
欧州・中近東・アフリカ	32,000	1,100
東アジア・オセアニア	90,000	5,400
東南アジア	50,000	2,100
APLL	212,000	△400
その他	2,000	200
調整額	△30,000	—
合計	534,000	16,400

# 連結子会社の決算期統一について

## ● 2017年3月期より、連結子会社(除くAPLL)の決算期(財務報告期間)を統一

### 【目的】

- ・期間業績のタイムリーな把握
- ・迅速な情報提供



※ 連結子会社はAPLLを除く。

# 新中期経営計画

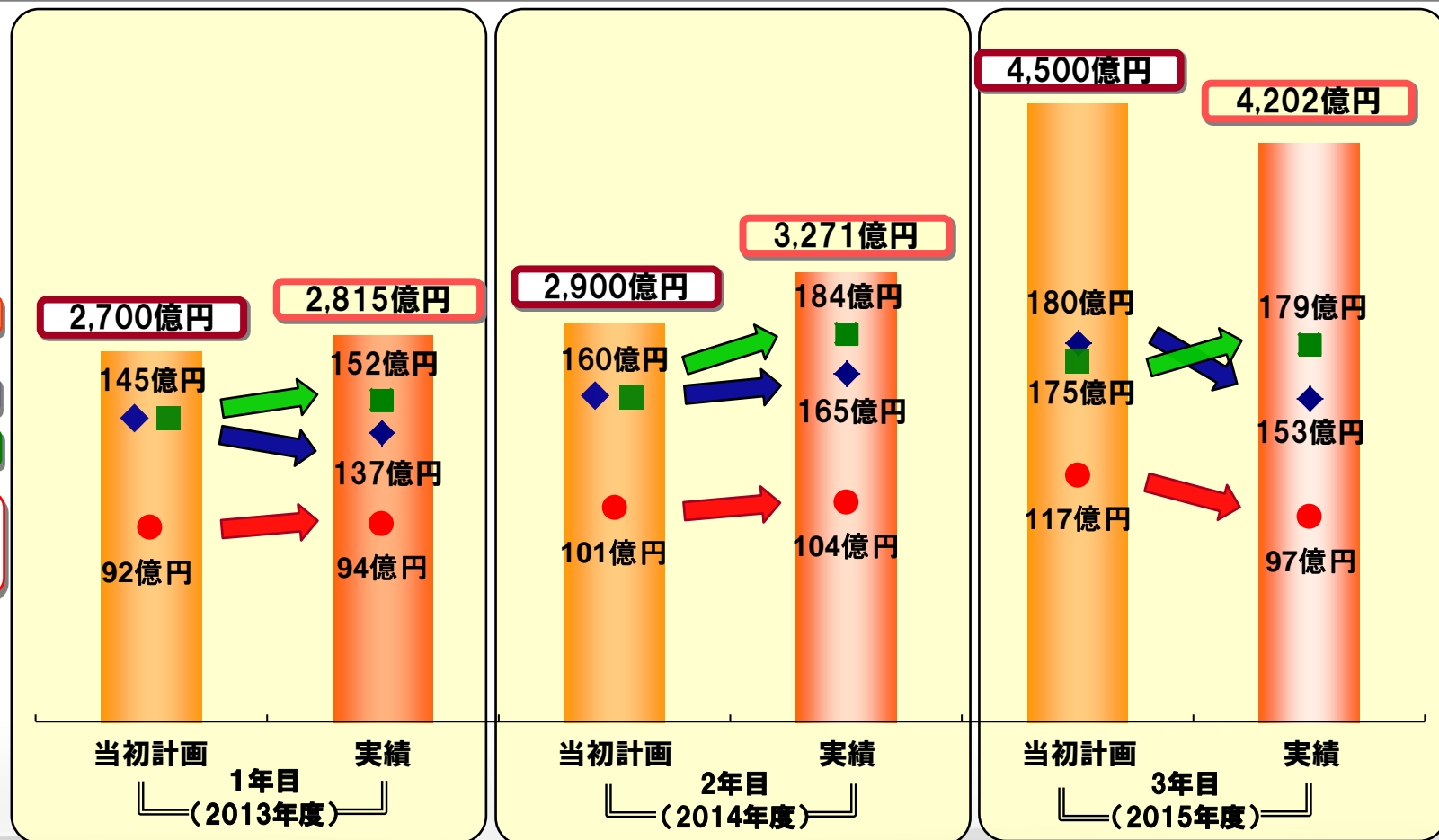
“Going to the Next Phase !”

2016年度～2018年度(3ヵ年)

# 前中期経営計画(2013年度～2015年度)の総括

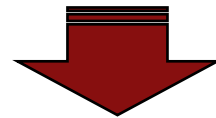
## 経営戦略

1. バランスの取れた事業構成の構築と重点品目の取扱い拡大を図る
2. 成長する新興国でのプレゼンスの向上を図る
3. オフショア販売の強化と効率性を追求した高品質なオペレーションを構築する



**事業環境** : 世界経済の減速懸念、不安定な為替動向、競争の激化

**経営課題** : 取扱い物量と営業収入の拡大により、グローバル市場でのポジションを高める



## 新中期経営計画の目指すべき方向

- ◆ お客様視点に立ったソリューションの構築
- ◆ お客様の満足度を高める品質の実現
- ◆ APLLとのシナジー創出による事業規模の拡大
- ◆ 事業環境の変化に迅速に対応できる体制の構築

# 新中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要

## ビジョン

サプライチェーンソリューションの提供により、お客様の事業戦略を支えるパートナーになる。

## スローガン

“ Going to the Next Phase !”

## 2018年度数値目標

営業収入：6,340億円 営業利益：220億円  
物量：航空貨物 70万トン 海上貨物 70万TEU

## <戦略の柱>

業界で最も多彩なサービスを提供する

生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

コーポレート力を結集し生産性を高める

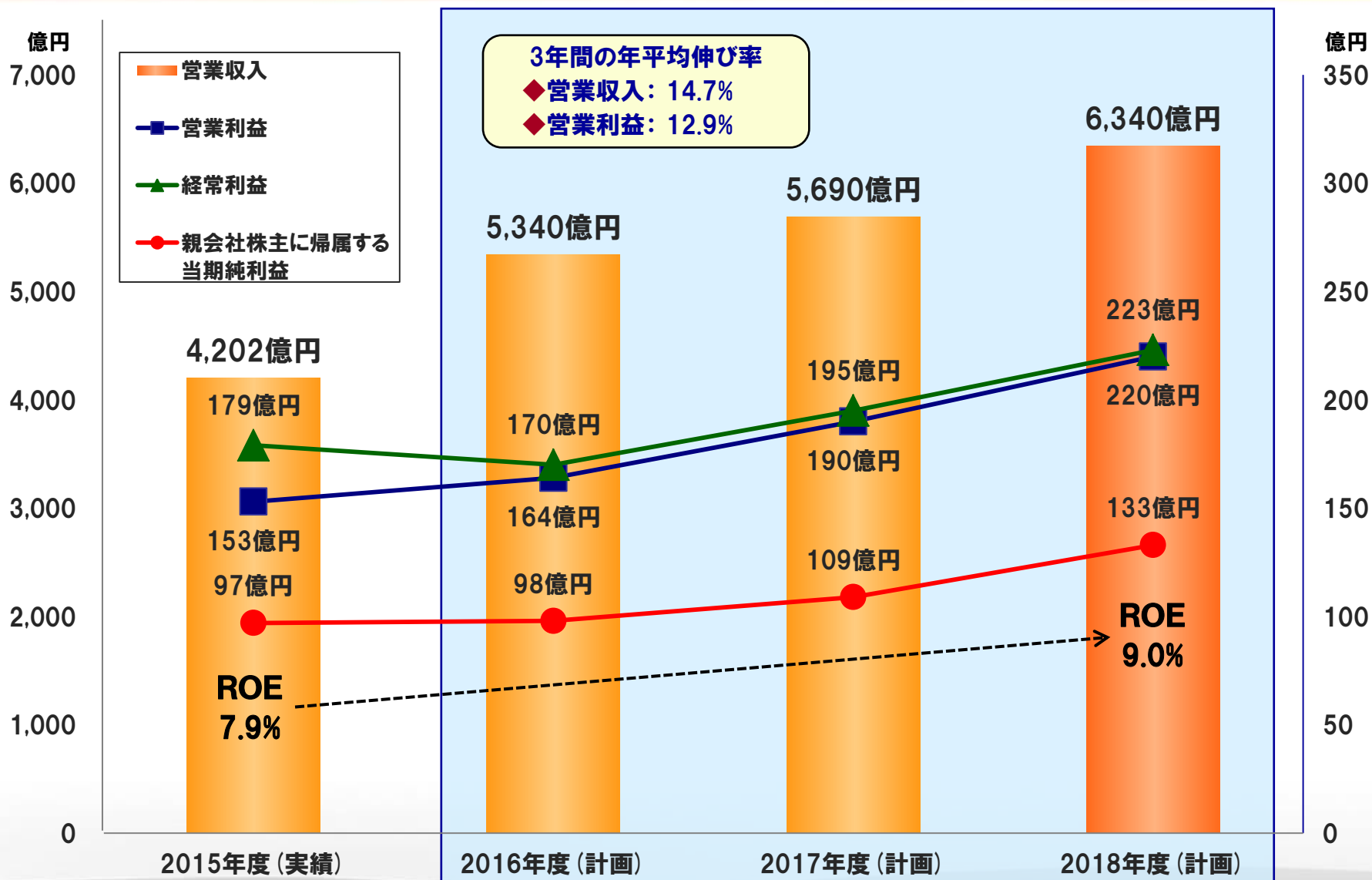
## <戦略を支える経営基盤>

コーポレトリソースの  
有効活用

コーポレトリスク  
管理の強化

業務品質の向上

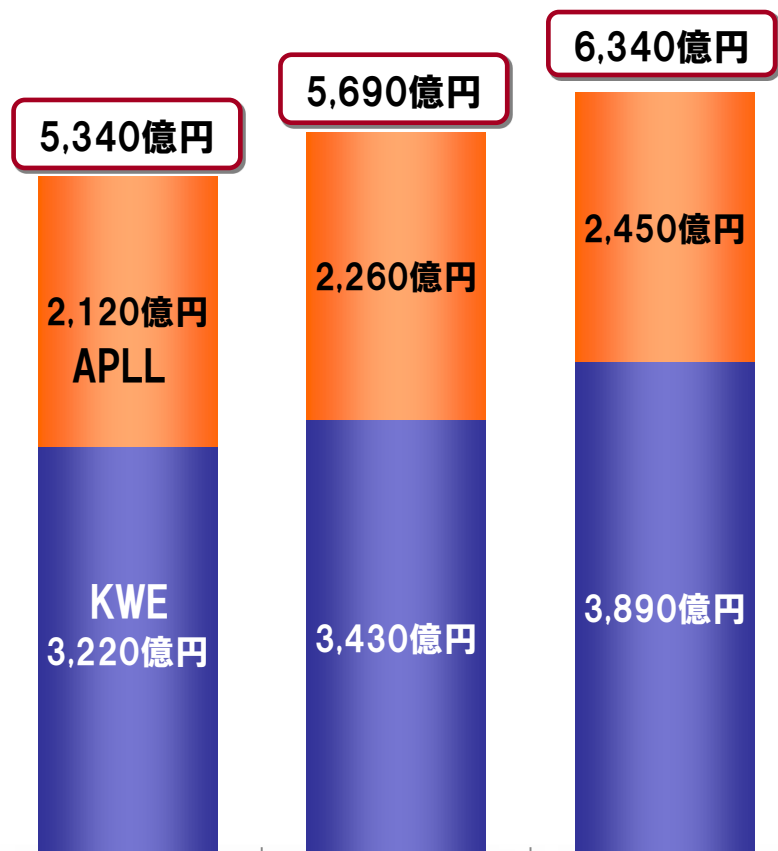
# 新中期経営計画3カ年の業績数値目標(連結)



# 新中期経営計画(2016年度～2018年度)

## 業績数値目標(KWE、APLLの目標)

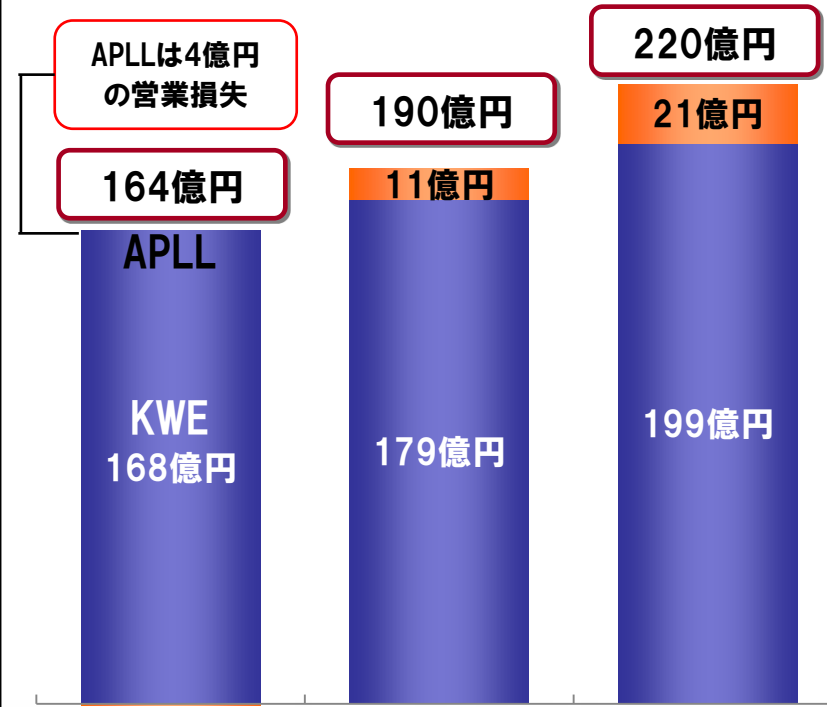
### 営業収入



2016年度(予算) 2017年度(計画) 2018年度(計画)

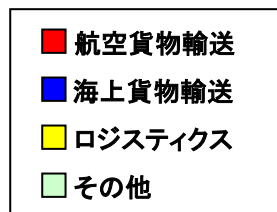
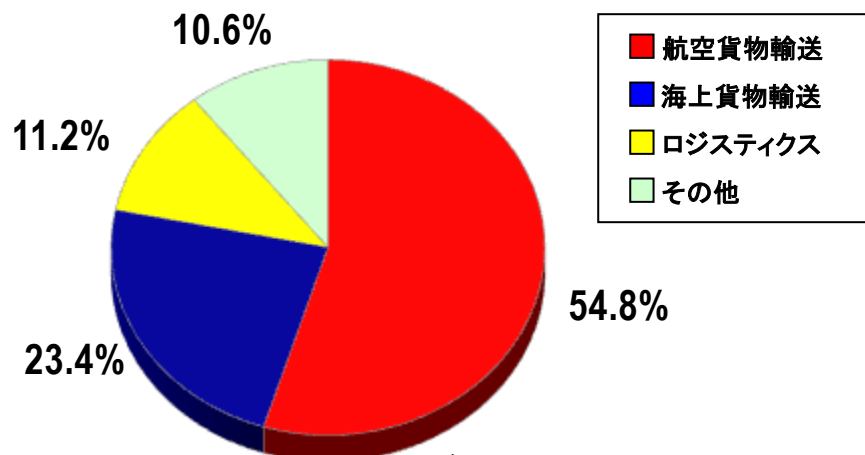
### 営業利益

※APLLについてはのれん等の償却年間63億円を考慮しています。

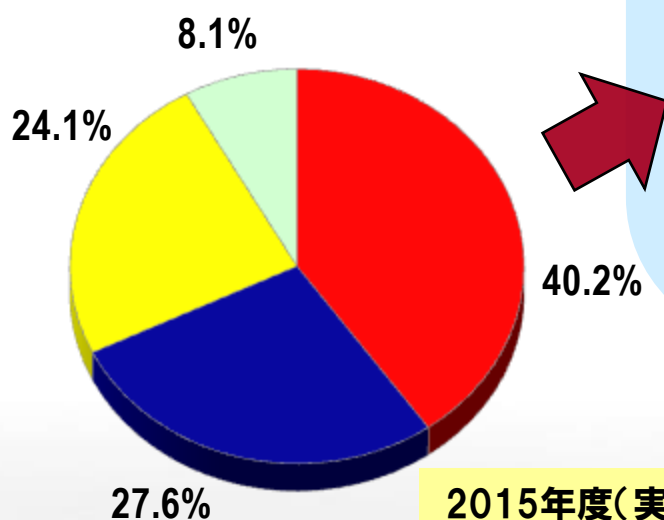


2016年度(予算) 2017年度(計画) 2018年度(計画)

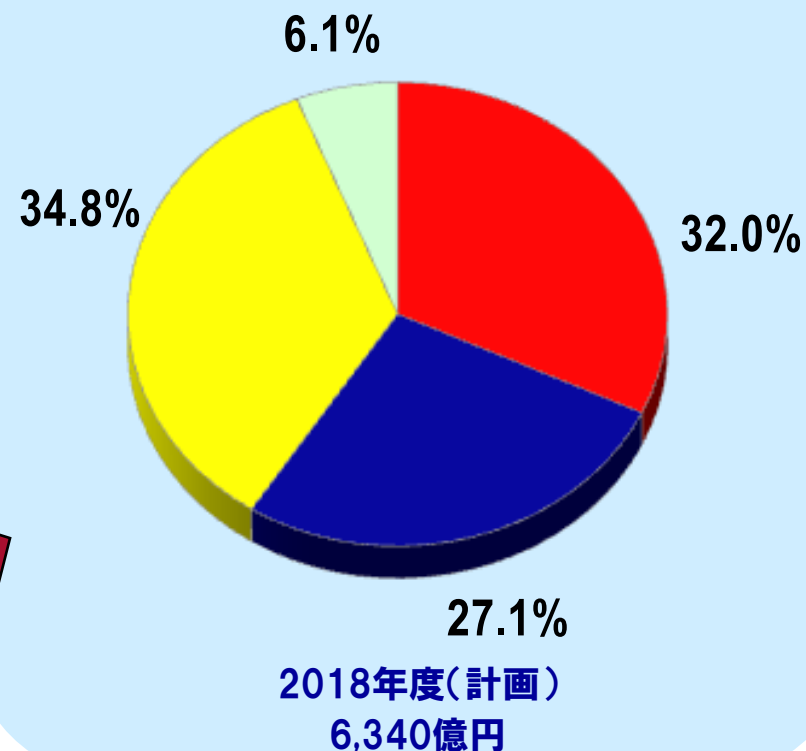
# 新中期経営計画(2016年度～2018年度) 事業別営業収入の構成比の変化



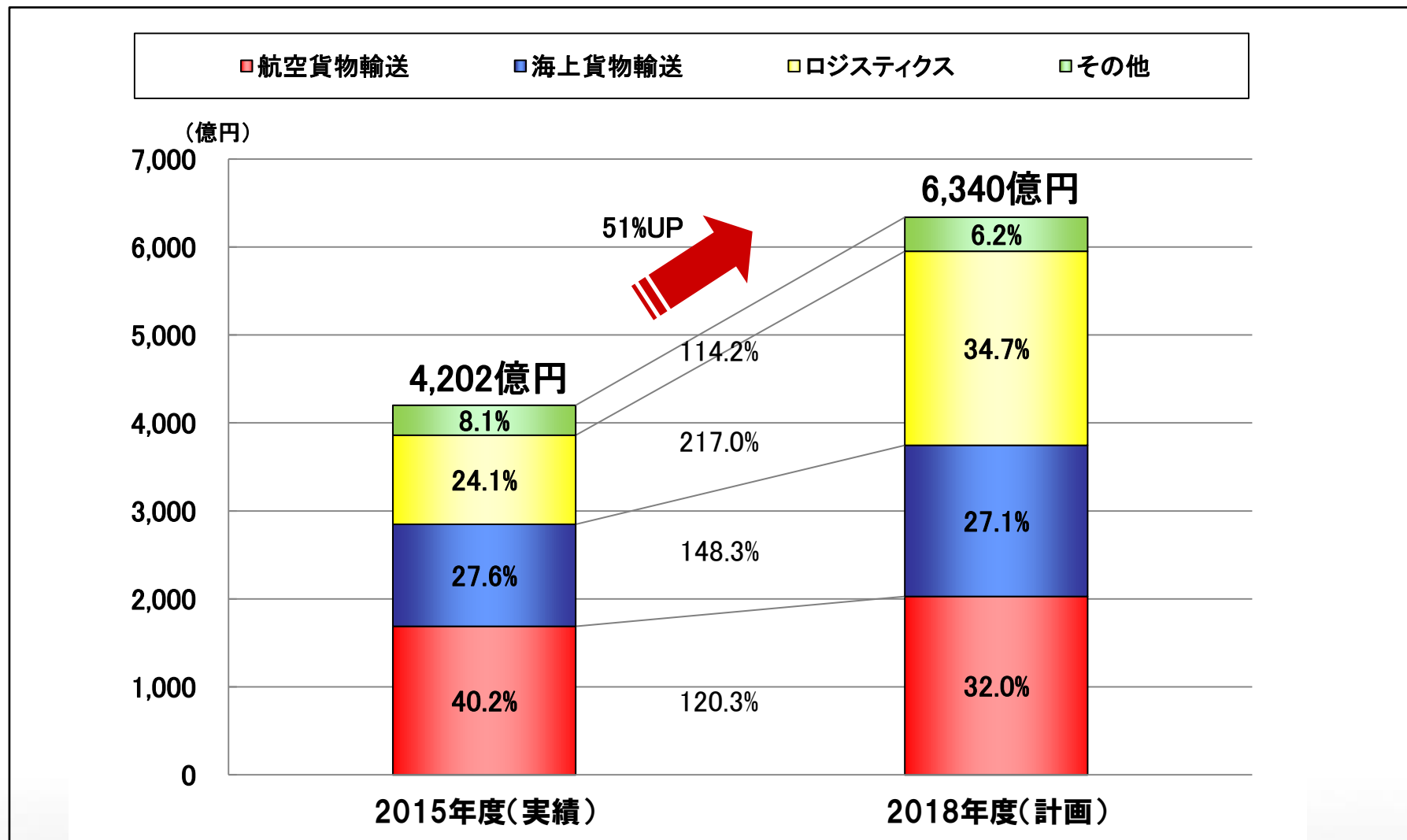
2014年度(実績)



2015年度(実績)



## - 事業別営業収入の目標 -

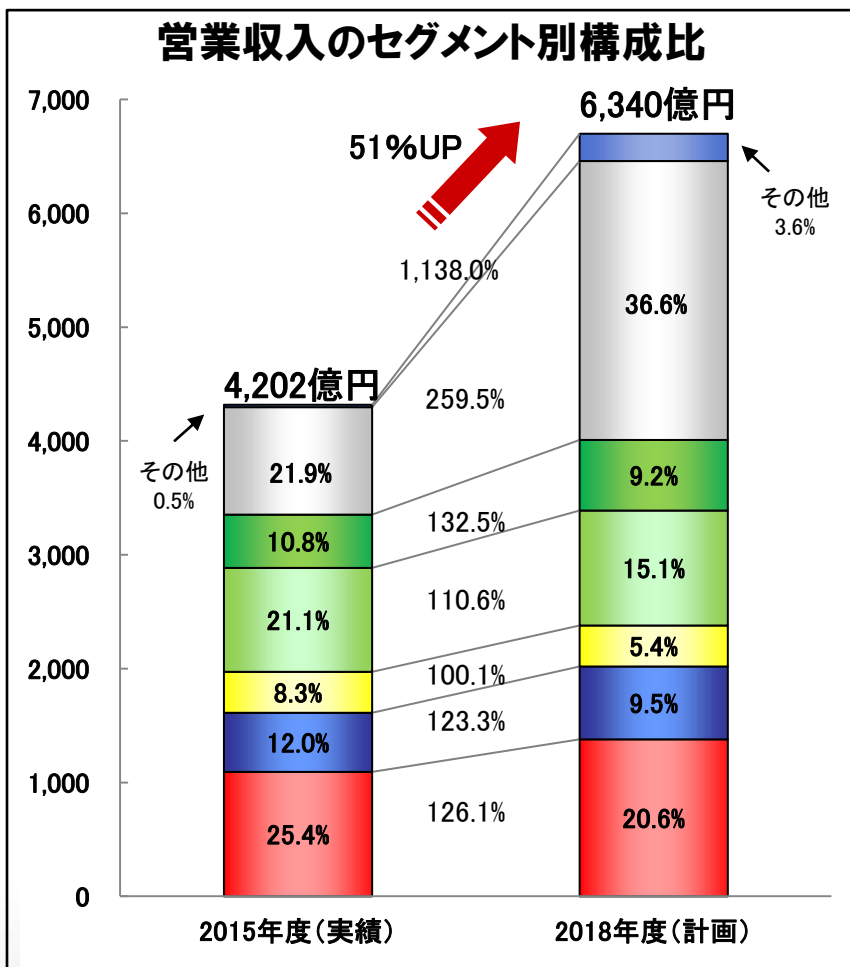


# 新中期経営計画(2016年度～2018年度)

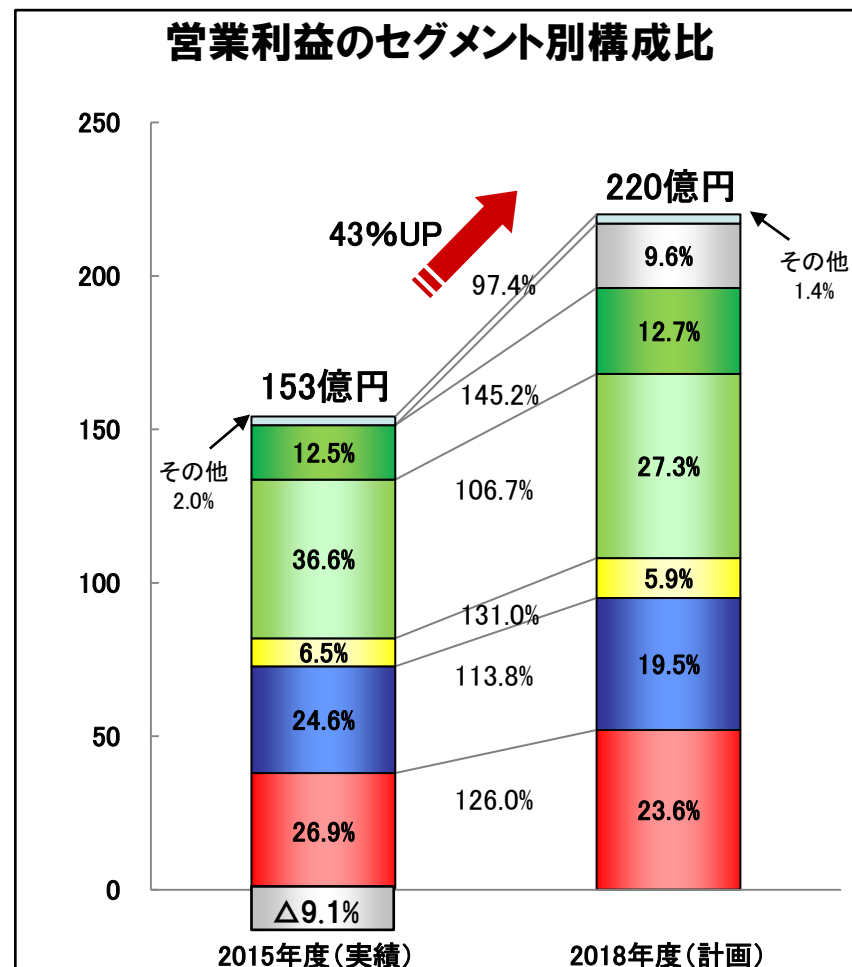
## セグメント別営業収入・営業利益の目標

■日本 ■米州 ■欧州・中近東・アフリカ ■東アジア・オセアニア ■東南アジア □APLL ■その他

### 営業収入のセグメント別構成比



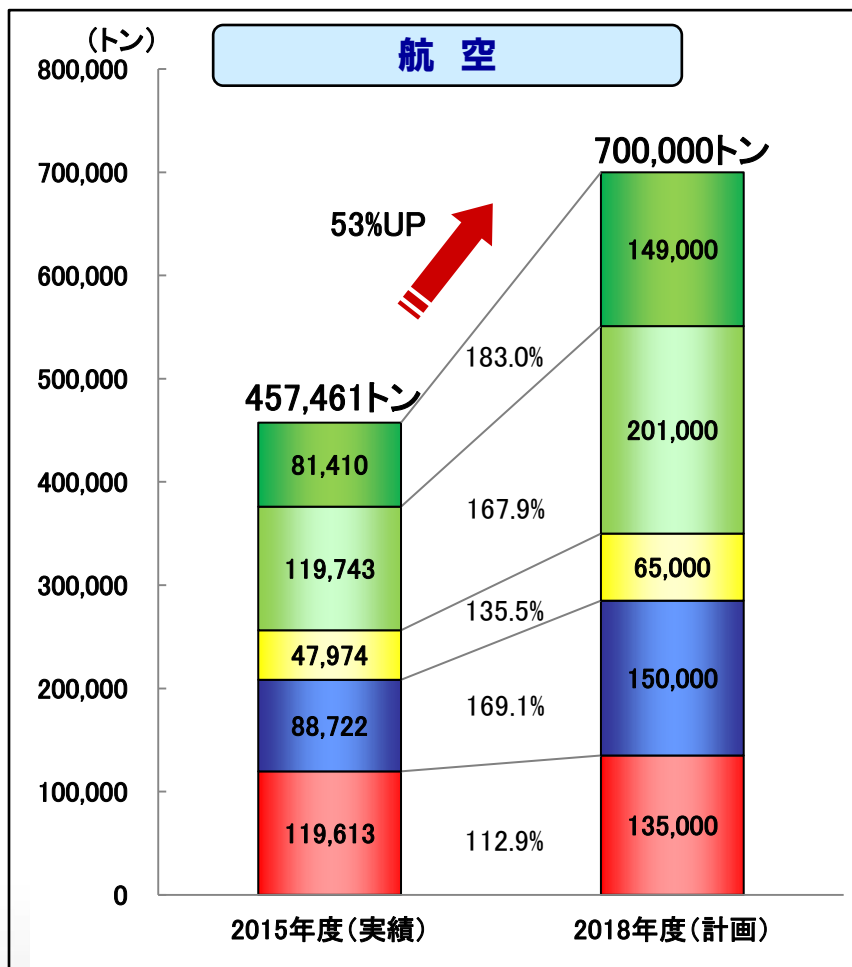
### 営業利益のセグメント別構成比



# 新中期経営計画(2016年度～2018年度)

## 連結物量目標

■ 日本   
 ■ 米州   
 ■ 欧州・中近東・アフリカ   
 ■ 東アジア・オセアニア   
 ■ 東南アジア   
 ■ APLL



### 1. 業界で最も多彩なサービスを提供する

KWEグループとAPLLグループ双方のサービスを合わせた多彩なソリューションメニューから、お客様視点に立った提案を行うことで、お客様満足度の向上を目指す。

### 2. 生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

お客様の調達、生産から販売まで、幅広い分野へサービスを提供することで、様々な地域や商流でお客様の物流ニーズを具現化することを目指す。

### 3. コーポレート力を結集し生産性を高める

全社グループのスケールメリットを活かした購買力の向上により、取扱い物量拡大に繋げる。相互協力により業務の効率化とコスト削減を目的とした取組みを行う。

## 戦略の柱 ～APLLグループとの目指すシナジー～

### KWEグループの強み

生産物流

航空輸送  
海上輸送

ハイテク  
エレクトロニクス

日本・アジア

### APLLグループの強み

調達・販売物流

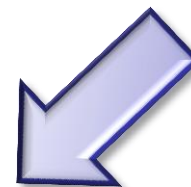
POマネジメント  
バイヤーズコンソリデーション

リテール  
自動車

北米・中南米



## 両者の強み



### 目指すシナジー

- ◆ End to End Solutionの提供
- ◆ サービスの相互補完による双方のコーポレートアカウントへの販売機会の増加

## ～コーポレート戦略を支えるコアコンピタンスの強化～

### 1. コーポレートリソースの有効活用

- ・コーポレートITの最適化
- ・人材・インフラ・ノウハウの共有

### 2. コーポレートリスク管理の強化

- ・APLLを加えたコーポレートリスク管理体制の推進

### 3. 業務品質の向上

- ・業務標準化の推進と成功事例の横展開

## KWEグループの主な戦略

### 1. 品目別営業強化

Automotive, Industrial, Consumer, Healthcare, Retail分野での取扱い拡大

### 2. トランスパシフィックを中心とする主要レーンの物量拡大とそれによる安定したスペースの供給

アジア発、米州・欧州向けレーンの積極的販売

### 3. オフショアビジネスの拡大

日系のみならず欧米系企業もターゲット

### 4. 新興市場での事業展開の加速

ASEAN諸国、インド、中南米、東欧等

### 5. グループシナジーの創出

クロスセールの実施、海上運賃の共同仕入れ等

## APLLグループの主な戦略

### 1. 産業別に特化したアプローチ

Automotive : 完成車とアフターマーケットに焦点を当てたサービスの展開

Consumer : 成長マーケットと付加価値サービスへの集中

Industrials : 実績のあるソリューションを活かしたビジネスの拡大

Retail : 革新的な受発注管理サービスの提供と米国以外でのビジネス拡大

### 2. ソリューション・プロバイダーとしての進化

End to End ソリューションの提供のためのサービス強化

サプライチェーン・ソリューションとITソリューションの商品化

### 3. グループシナジーの創出

クロスセールの実施、海上運賃の共同仕入れ等

## 主な設備投資予定

- ◆ IT関連(ハードウェア・ソフトウェア・システム開発)、  
物流施設関連(倉庫および庫内設備)、事務所関連、  
車両関連(トラック・トレーラー等)等

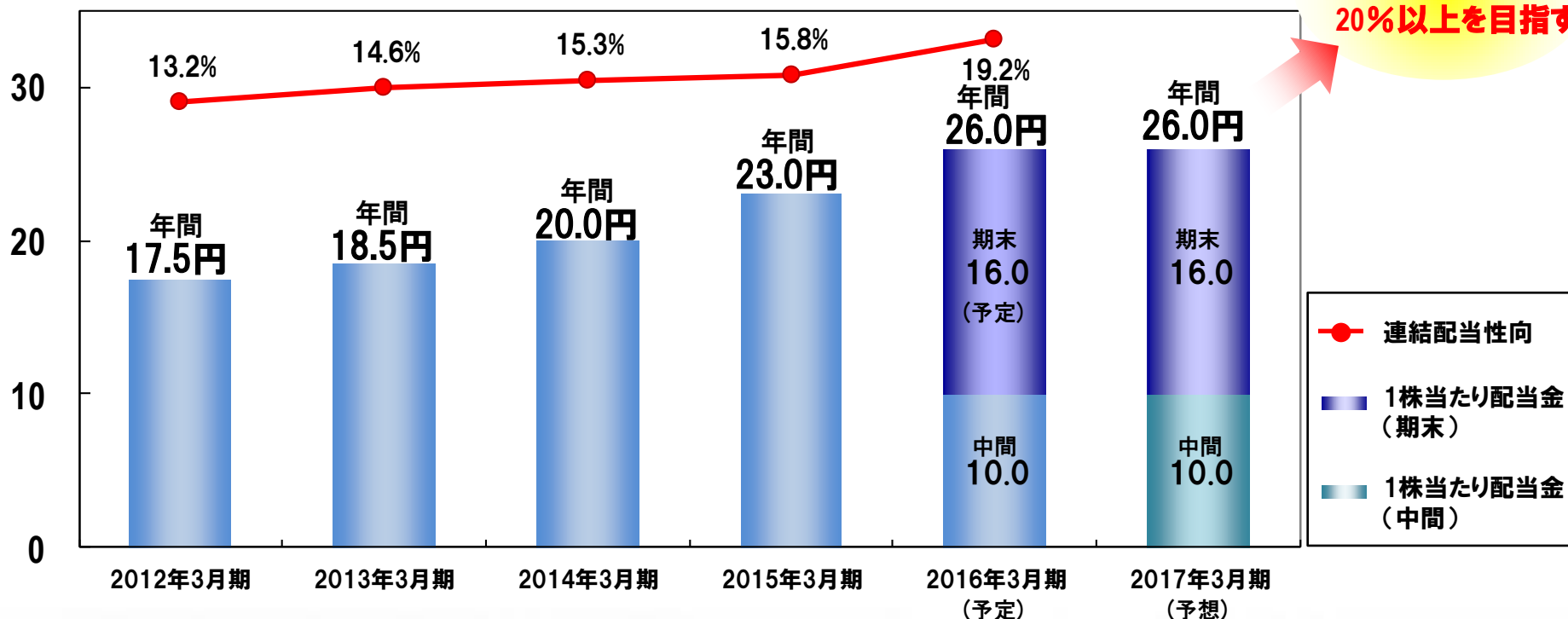
投資予定総額(3年間) 約175億円

# 配当について

当社グループは、株主の皆様への利益還元の充実、将来の国内外での事業展開および経営基盤の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本に、各期の連結業績および配当性向等を考慮しながら増配に努めてまいります。

年間配当金(円)

## 1株当たり配当金・連結配当性向の推移

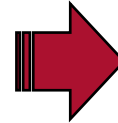


※当社は2015年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの1株当たり配当金は当該株式分割が2012年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

# 新中期経営計画(2016年度～2018年度)で目指すもの



+



新たな成長軌道に乗り  
真の“グローバル・  
ロジスティクス・パートナー”へ

“Ready for the Next !”  
未来への挑戦

“Ready for the Next !  
Phase2”  
未来への挑戦-さらなる飛躍へ

“Going to the Next Phase !”

KWEグループ } コーポレートの  
APLLグループ } 経営戦略

2010～2012年度

2013～2015年度

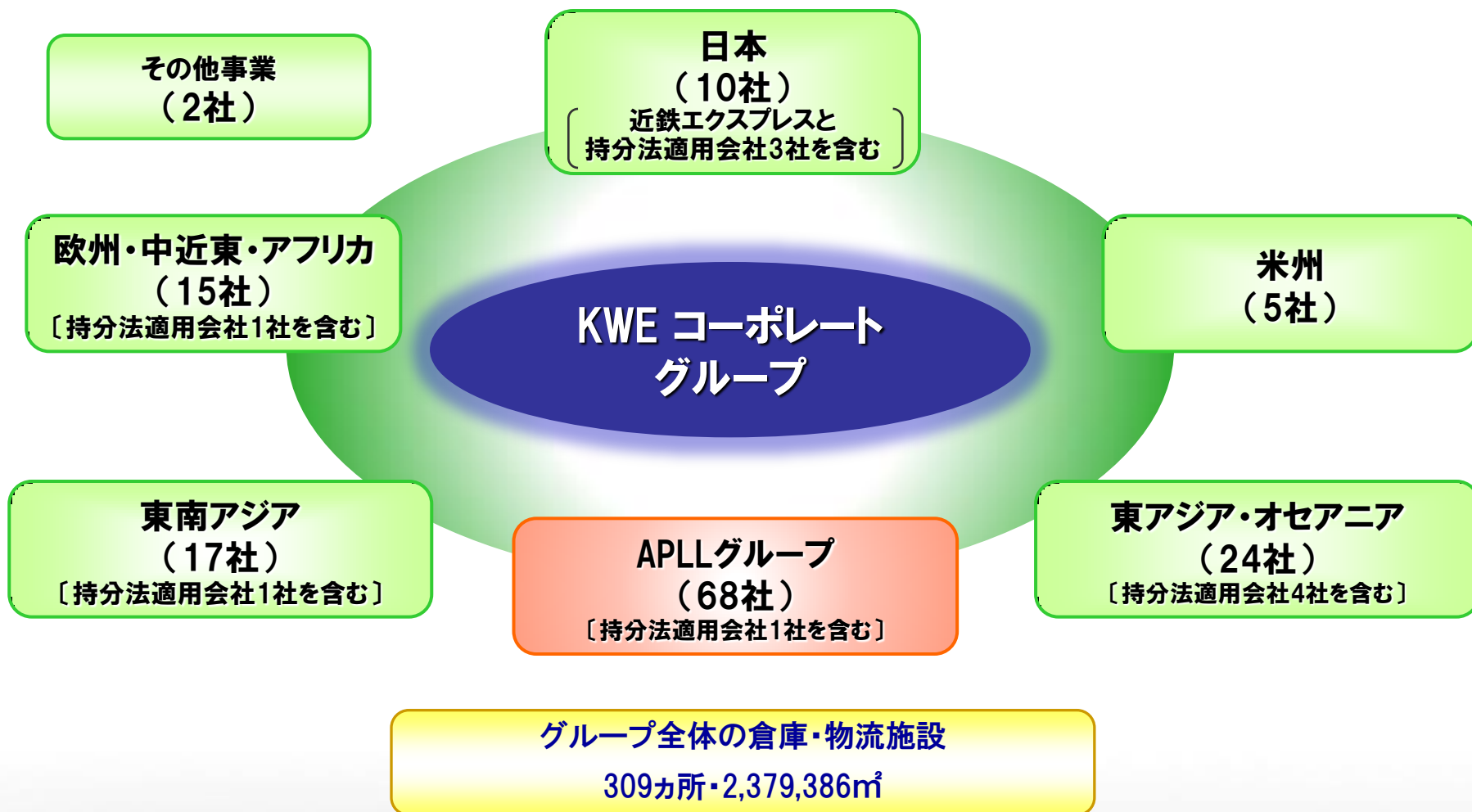
2016～2018年度

2019年度～

## 参考資料

# 当社グループのグローバル・ネットワーク

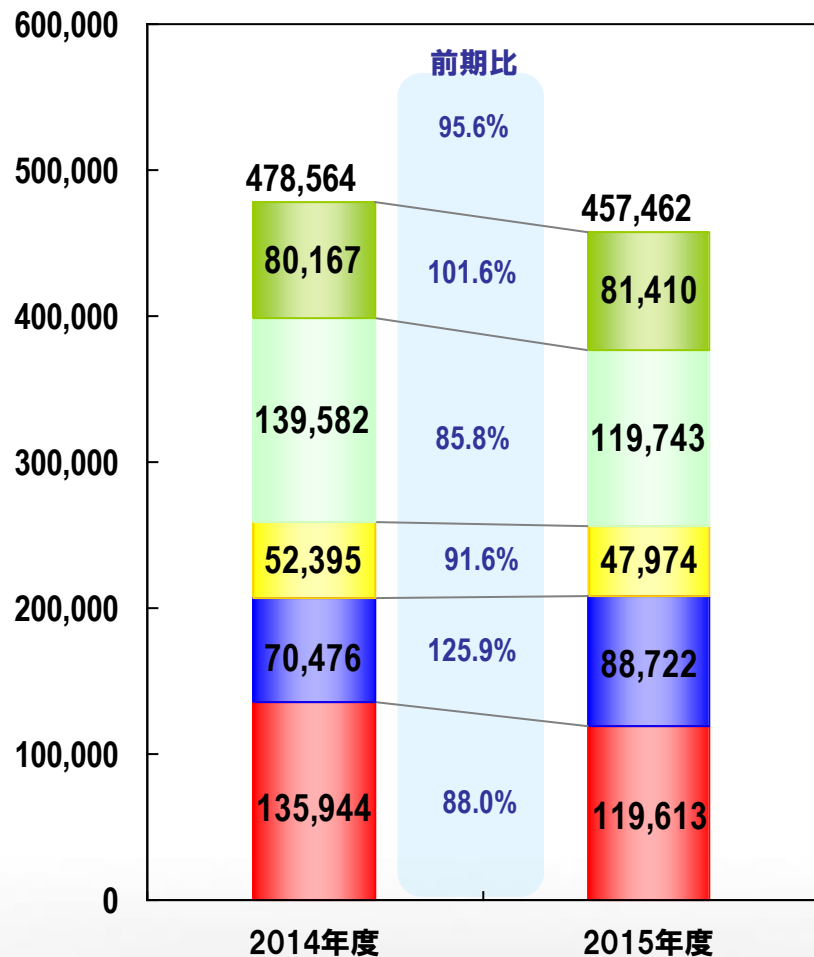
世界 44ヵ国 322都市 717拠点（2016年3月31日現在）



# セグメント別物量実績 (航空)

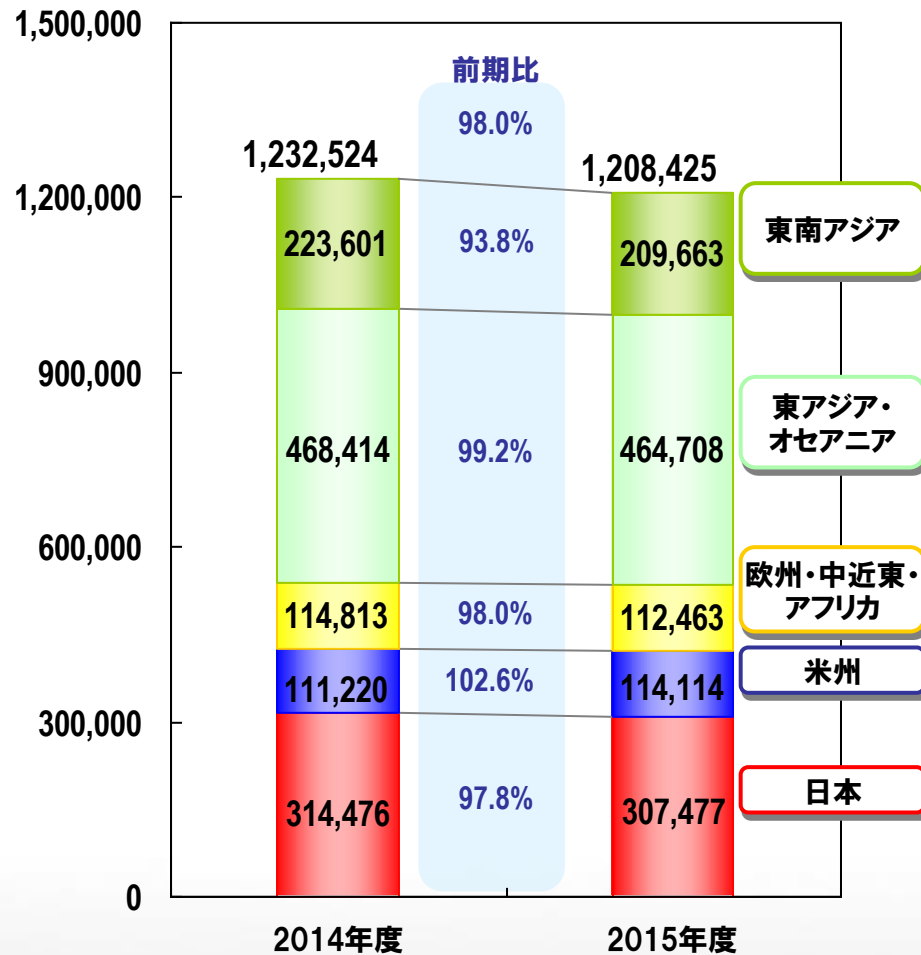
## 航空輸出

(重量:トン)



## 航空輸入

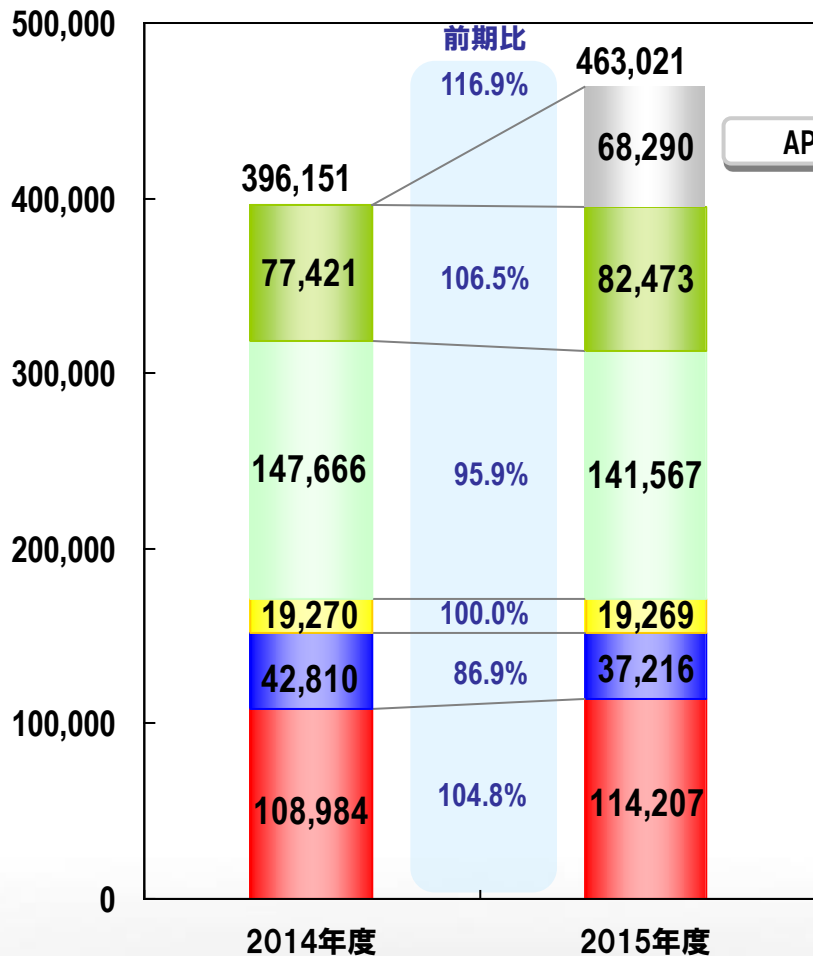
(件数)



# セグメント別物量実績 (海上)

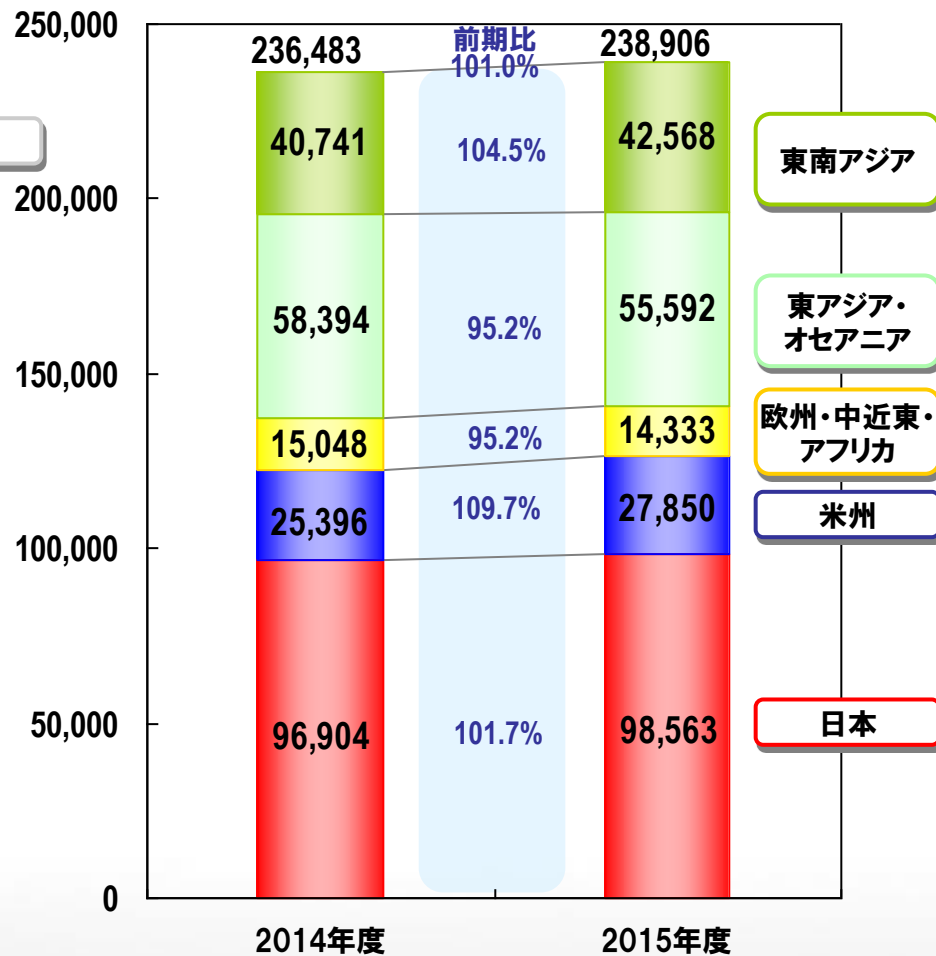
## 海上輸出

(容積: TEU)



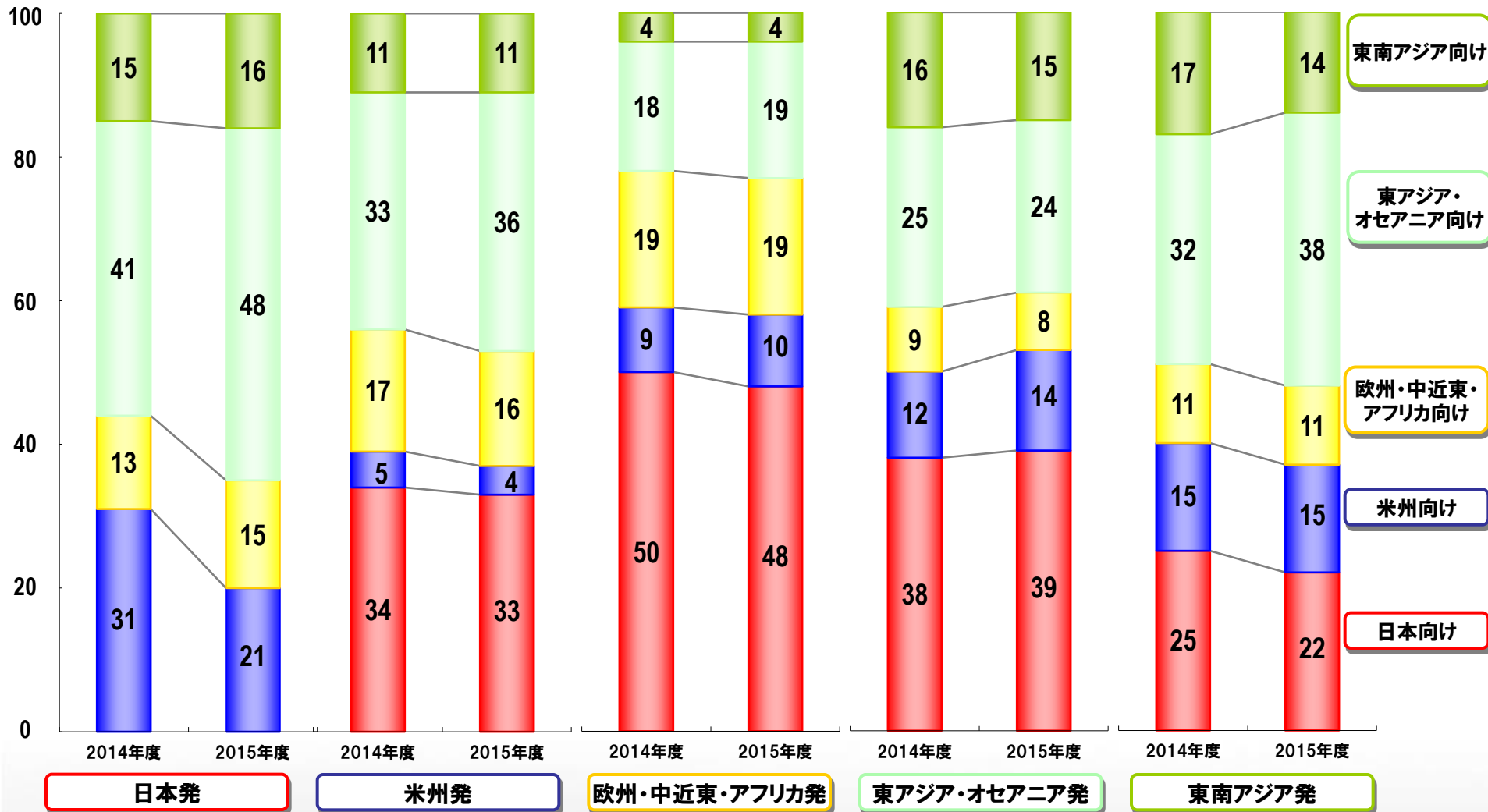
## 海上輸入

(件数)



# 航空輸出物量取扱実績（仕向地別構成比）

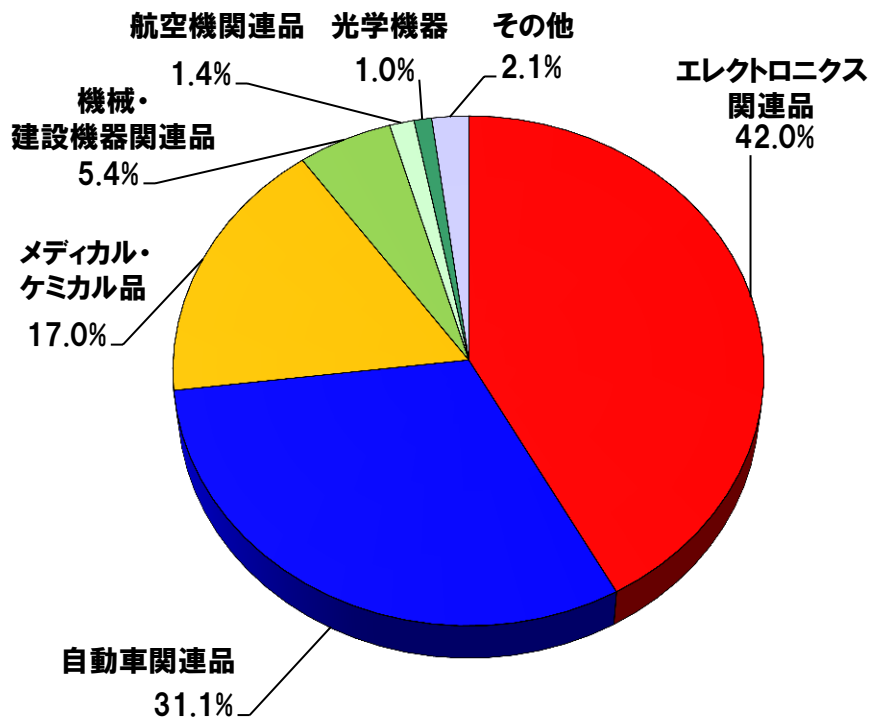
（構成比：％）



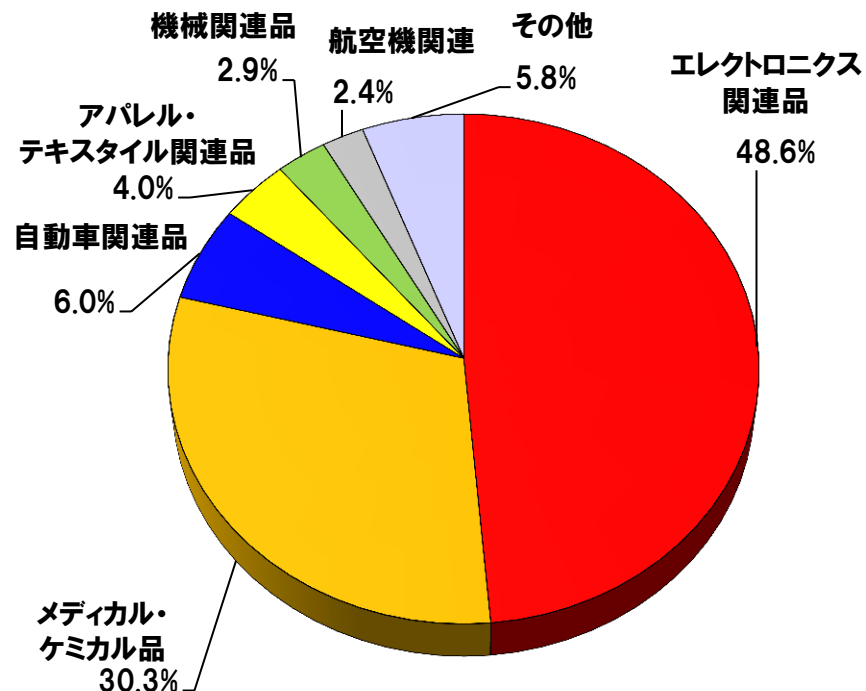
# 取扱品目の現状①（日本単体：航空貨物）

## － 営業収入上位100社ベースでの構成比－

航空輸出 2015年度



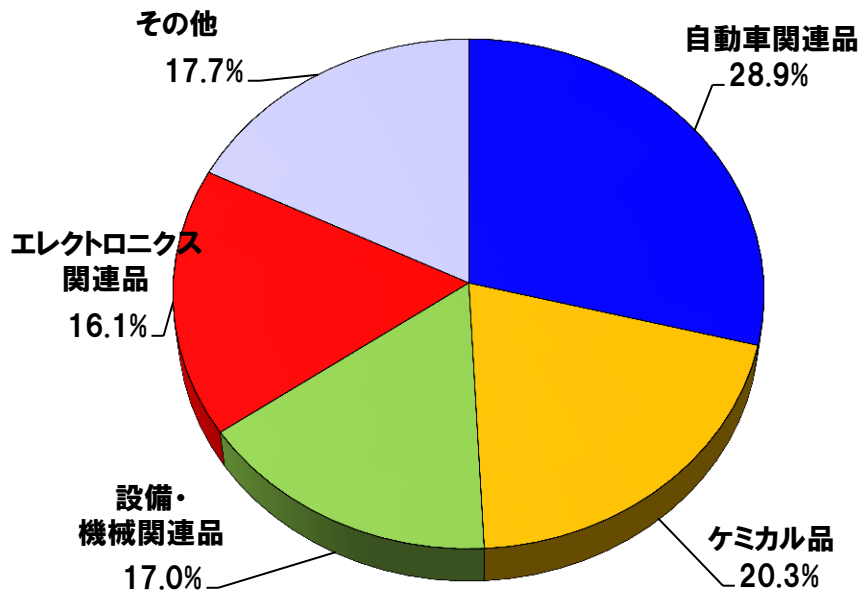
航空輸入 2015年度



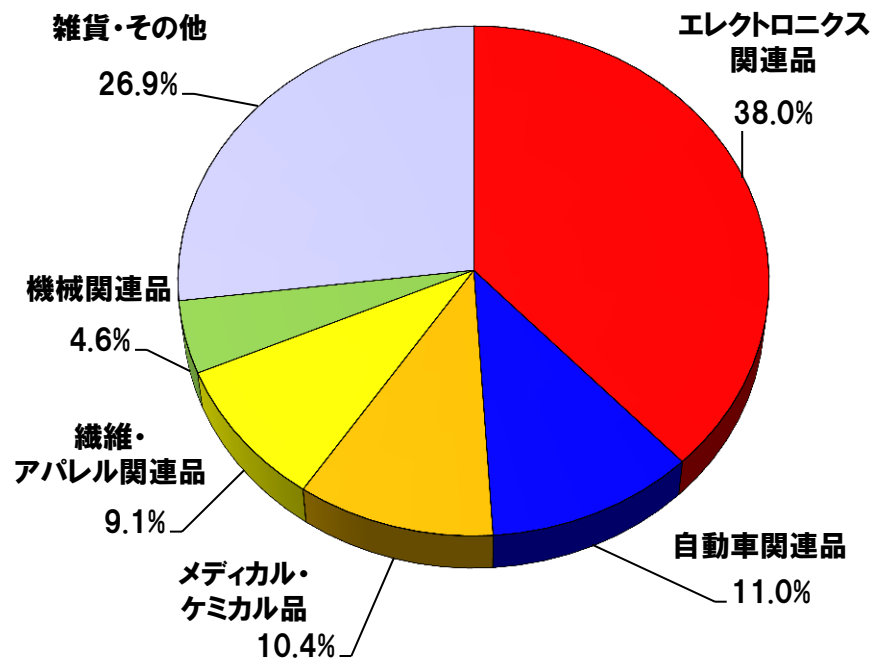
# 取扱品目の現状②（日本単体：海上貨物）

## － 営業収入上位100社ベースでの構成比 －

海上輸出 2015年度



海上輸入 2015年度



さすがだね、を世界中で。



*Global Logistics Partner*

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

**株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、高橋**

**TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501**

**ホームページ <https://www.kwe.co.jp>**

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。